

Title: 「明日はどっちだ」



徳田 敬太  
Keita Tokuda 1985年  
生まれの食べざかり。  
世界という大海へ向け、今、旅立とうとしています。

●最近のエントリー

- ☞ マレーシア 17-2 (2009.08.31)
- ☞ マレーシア 17-1 (2009.08.31)
- ☞ マレーシア 16-2 (2009.08.23)
- ☞ マレーシア 16-1 (2009.08.23)

●アーカイブ

- ☞ 2011年04月
- ☞ 2011年03月
- ☞ 2011年02月
- ☞ 2011年01月
- ☞ 2010年10月
- ☞ 2010年09月
- ☞ 2010年08月
- ☞ 2010年07月
- ☞ 2010年06月
- ☞ 2010年05月
- ☞ 2010年04月
- ☞ 2010年03月
- ☞ 2010年02月
- ☞ 2010年01月
- ☞ 2009年12月
- ☞ 2009年11月
- ☞ 2009年10月
- ☞ 2009年09月
- ☞ 2009年08月
- ☞ 2009年07月
- ☞ 2009年06月
- ☞ 2009年05月
- ☞ 2009年04月
- ☞ 2009年02月
- ☞ 2009年01月
- ☞ 2008年12月
- ☞ 2008年11月
- ☞ 2008年10月
- ☞ 2008年09月
- ☞ 2008年08月
- ☞ 2008年07月
- ☞ 2008年03月
- ☞ 2007年11月
- ☞ 2007年10月
- ☞ 2007年08月
- ☞ 2007年06月
- ☞ 2007年05月
- ☞ 2006年10月
- ☞ 2006年09月
- ☞ 2006年08月
- ☞ 2006年07月
- ☞ 2006年06月
- ☞ 2006年05月
- ☞ 2006年04月
- ☞ 2006年03月

●ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



ESP 2.0

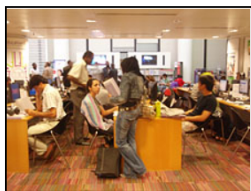
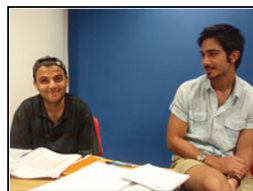
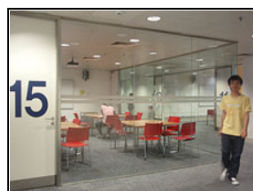
明日はどっちだ > 2009年08月 アーカイブ

09.08.31

マレーシア 17-2

学生が、スクーリングだのフリー期間だの言っている時自分は新たな英語学校へ通い始めました。

プリティッシュ・カウンシルのクアラルンプール校です。すごいキレイなクラスとレセプション、トイレでクラスにはイラン人が多いです。

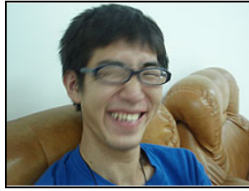


学校の施設の近くにはもしマレーシアローカルフードランキングを付けたら必ず上位に軽々と入るであろうチャージャー飯屋さんがあるのですがKLIにはその本店がありません。

山本さんとともにに行ってきました。お客さんたちを見ると、チャージャーをもちろん頼んでいるのですがそれとともに手キンも頼んでいました。だから、どちらもオーダー。チャージャーの皮の味は似ていましたが肉の食感に結構な違いがありました。しかし、さすが有名店だけあっておいしかったです。



藤原くんが急遽、施設へ戻ってきました。相変わらず元気なのでOKです。



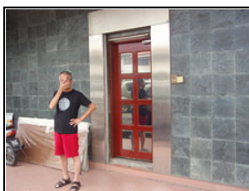
そして、山本さんが中国へと出発です。



4期生みんなからの心こもった手紙を局長に渡し  
タクシーにて空港へ。



藤原くん、手紙を読む熊倉局長、足跡帳を書く山本さん。



熊倉局長とタクシーを待つ山本さん。

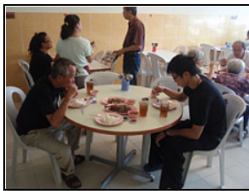
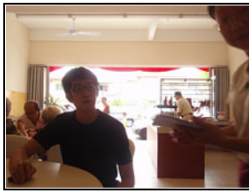
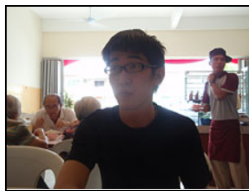


山本さん、志村くん。  
もうこの施設で会う事はないかもしれませんが  
最後まで元気で撮影してください！



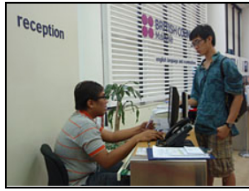
Malaysia1783.JPG

そしてダック屋さんにて昼食。



藤原さんとKLへ。





局長、藤原さんとKISSATENへ。



そして、局長も日本へと帰って行きました。  
ありがとうございました！ 楽しかったです！  
次に会うときはやはり日本で、でしょうか。  
また、お会いできる事を楽しみにしています。





と、局長を見送った数時間後  
 2期生の藤森さんとそのご両親が施設へとやってきました。  
 ちょっくら施設をぐるりとご案内したり、  
 ここでの生活を話したり、  
 藤森さんともジェンガをしたり、  
 紺野さんのベトナムのお土産をあげたりと。  
 ワンさんも来てお昼はやはり、チャーシュー飯屋さんへ。  
 お土産やお米まで預けて、ありがとうございました。

お土産の羊羹に藤原くんは  
 すげー、うまいっす！と言っていました。  
 あんこがたまらんのだと思います。



## マレーシア 17 - 1

審査を終えた学生はフリー期間などの予定や注意事項を先生方と面接をしていました。  
面接では具体的に何を話していたかわかりませんが、きっと、最後の日本帰国まで安全に気をつけて写真を撮ってこい！ということなのだと思います。。

面接を終えた先生方は、日本へと帰国していきました。  
ありがとうございました！  
徳田も学生に負けず、マレーシアでしっかり写真を撮りたいと思います。  
また、日本で会える日を楽しみにしています！



スクーリングを終えた学生の乾杯。 jaya19にて。



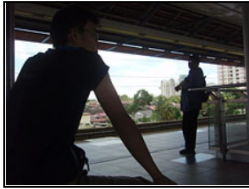
そして、フリー期間のプランニングなどを始めた学生たち。



荷物をまとめて日本へ送る準備をしたり  
KLCCまで全話帳などの本を買いに行ったりと  
フリー期間も近づいていますが  
おっと、これは日本帰国も近いです。  
百数十日あったフィールドワークが残り数週間となってまいりました。



アジアジャヤ駅からKLCCへ。



KLCCのフードコートにて昼食。

志村くん、高橋さん。



99番バスを待つ高橋さん、志村くん。





KLの市内から施設まで帰るのにはバスを使うと楽なので  
 自分はいつもバスを使っています。  
 が、何十回も乗っているそのバスが  
 初めて、しかも学生とともに乗っている時に  
 エンジントラブルで停車。  
 偶然か何か、止まったところは  
 ちょうどKLと施設のあるPJの境を示す門のあるところでした。  
 エンジンが止まったと同時にエアコンも止まり  
 人で埋まった車内の気温、湿度ともに急激に上がり  
 否応無しにマレーシアという熱帯を感じさせます。  
 一人、また一人と車外へと熱さ避難のために出て行き  
 そうこうしているうちに、後ろから来たバスに乗り無事PJへ戻って行きました。



大量のコンタクトと2日に囲まれる高橋さん、藤原くん、山本さん。



学生たちが大掃除をしてくれました。  
 長坂さんは、来た時よりも美しく綺麗に！と。

藤原くん、高橋さん





山本さん、志村くん



学生たちのフォローをしていた長坂さんも  
この日で学生に会う日は最後となり握手。  
次に会う時は日本です。

その後、夕飯を食べに外へ出ると  
大家さんに会いまして、施設の近くに新しくできた  
ダック屋さんで食べる事に。  
開店当初まぼちまぼちだったダックやチャーシューも  
最近は皮がおいしくなったり、味も向上したりとしています。  
この施設の近くは、郊外の一住宅街なのに  
以外に美味しいお店がたくさんあります。。

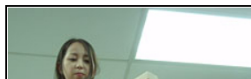


施設の近くに来たダック屋さんで夕食。



そして、ジェンガ。  
最近気づいたのですが、  
どうやら土台にしていた机が曲がっているっぽいですが、  
そりゃあいくらジェンガ自体が一定の高さ形でないしろ  
やたらくねくねすると思いました。  
ちなみにこの徳田、ジェンガがやたら強い事が判明いたしました。  
学生と何回か勝負をしましたがほとんど勝ち。  
言われたコトの一つに、  
徳田さんは、特技ジェンガです。  
って言っていて言われました。

だから、言います  
私の特技はジェンガです。





いやー、これだってここからすげー曲がってんじゃん！

あーっ！ イヤだ負けたくない。んへ、どがとれんだこれ。

ジェンガをつつくその指先は、優しいキツキのくちばし。



もう、これぶっちゃけとれるトコないって！

次はさすがに回ってこないでしょー！

隙を見てもすばやく確実に一つのジェンガを抜き取る指先は狩人。



あーっ、もうこれ倒れるって！

その置き方まじないわー！もっと、ちゃんと揃えて置いてよ。

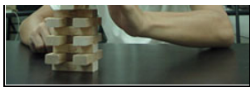
一瞬の研ぎ澄まされた集中力は手の震えを止め、幾ばくかの勇気を出す。勝負師の指先。

本気でもう回ってこない！ はず！



そして、誰かが倒しての繰り直し。

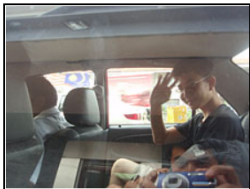




フリー期間の始まりです。



藤原くん、志村くんがタイでの撮影のために旅立って行きました。朝の8時くらい。見送る山本さんと高橋さん。



数時間後に高橋さんもシンガポールを経由してネパールへと旅立って行きました。



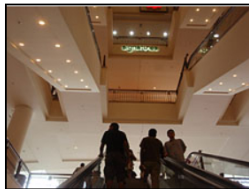
数日間クアラ Lumpur を取材したい山本さん。



post by 徳田 敬大 | 日時: 2009.08.31 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

明日はどっちだ > 2009年08月 アーカイブ

スクーリングは進んでいます。



先生に写真を見てもらっている学生。



スクーリングもあとちょい。  
みんな顔がかなりグロッキーになってきています。



志村くん、山本さん





いったい彼ら自身の目からはどう自身の写真は見えているのでしょうか。  
 なんてこともやりつつ、

志村くんのメガネから見る志村くんの写真

藤原くんのメガネから見る藤原くんの写真



志村くんの写真を見る鈴木先生、長坂先生



第2回目のスクーリングの審査

やはり、写真は自らの考えや人をそのまま表すもので  
 自身が鏡のように全部出てきて、  
 しかも形としてその場に存在して目でみえてしまいます。



千恵んじはつよいのノイパドノイで取っくごん学典で 元座して、  
この審査を受けてどう思い考えたんでしょうか。  
もっと、もっと突き詰めなけれまいけなかったり  
まだまだ未熟だったり、でも撮っていたり、明らかな進歩が感じれたり。  
授業ではなく審査となると緊張が違ふと思うので  
また思うことも違い、新たな事が見えて何かが開けたかもしれません。



パノラマ写真を床に並べる藤原くん。



そして、審査終わり。

カテゴリ：  
post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.08.23 | [パノラマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

[明日はどっちだ > 2009年08月 アーカイブ](#)

## マレーシア 16 - 1

スクーリングが始まって数日。。





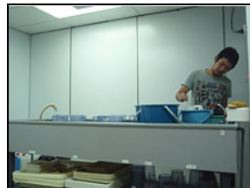
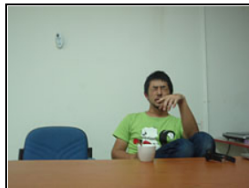
ベトナムで写真の仕事をしているFW1 期生、紺野くんがやって来ました。  
シンチャオ。  
去年日本を出る前に会ったきりの紺野くんとも  
たしかに久しぶりに会ったんでしょうが  
なんとも。  
全く久しぶりの感じがせず、昨日会ったのではなか？  
とも思いたくなるくらいでした。  
4期生は紺野くんとはベトナムを通った時にホーチミンで会っていたので  
この家の空気にも自然と溶け込んでいました。  
なにも問題ありません。  
なにせ同じフィールドワーカーですから。



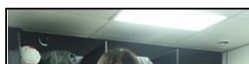
しかし、本当はここへは来た日の前日に到着してははずでした。  
飛行機が機械のトラブルによってキャンセルになってしまったようで  
30時間遅れくらいで、どうとう航空会社を要えマレーシアへとやってきたそうで。  
ベトナムから出ちゃいけないのか！？  
とも思ってしまうほどの出来事だったとか、とか。



まーなんせ、ここ二人はすでにこの施設に3年前に来ていたので  
どこでゆっくりできるなんつーかー知っています。  
過ごしやすさを知ってないけれど、なんせ1人もいたんですから。  
あれだけやった暗室作業も忘れてなんかいないくて  
体が覚えていて自然と動きます。  
あの時も聞いていたスピッツを同じく聞きながら  
記憶を聴覚から呼び覚ましたりして  
五感のどこからか思い出す記憶はなんて鮮明なんだろうか  
まるであの時のメンツが一組にここにいるようだ。  
とかとか。  
思い出にふけりながらタンクを攪拌したり水洗をしました。



ベトナムからのお土産はベトナムの帽子とキーホルダー。  
その他は飛行機のトラブルの時に会った人へ。





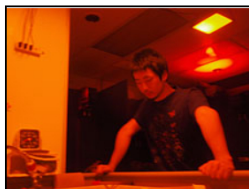
ジャヤ19へ。



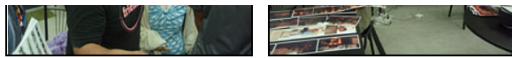
サンドイッチを作る山本さん



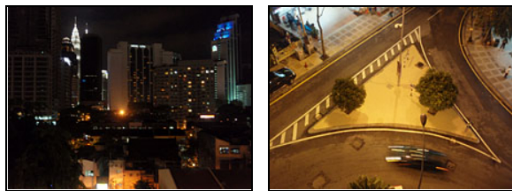
ミロと志村くん、暗室と紺野くん







先生たちがマレーシアに来た日に紺野くんとともにKL市内へ行き夕食。  
ベトナムからやってきたため  
ここクアラルンプールがものすごい都会に見えたそうです。  
たしかに紀伊国屋はあるし、伊勢丹あるし、ジャスコもあるし  
そういえば、すごいです。



この日から、先生たちが施設に来てのスクーリング開始です。  
やはり、ここへ来るまでに武勇伝やら思い出やら、  
体験記やいろいろ溜まって、  
学生たちの写真も進化や変化、進歩してみたいです。

紺野くんも、自分は暗室へこもりプリント作業。

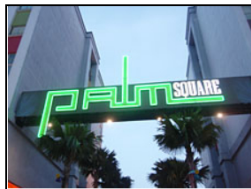


皆で施設近くの食堂にて昼食。

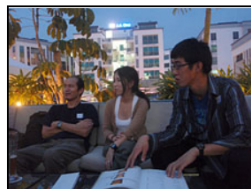
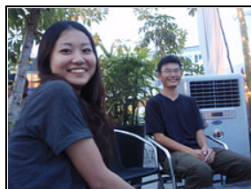




またまた、第3回目のスライドショーのイベント。  
フォトグラファーズ・ナイト。  
今回は飯塚先生の作品です。

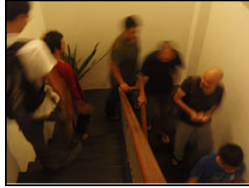


今回も席はいっぱいで前回来た人たちがたくさんいて  
やはり自分の事も覚えてくれているようで  
あいさつしたり、記録写真を撮ったりしました。



自分のときもそうだったのですが  
マレーシアのかたたちは割リかしチャイらしく

みんなの前ではあまり質問しません。  
しかし、内に秘めたる疑問や感想をホントは  
みんなたくさん持っています  
だから、席を個々に回ったりしたら  
すごく話こもります。



ここで先生たちと紺野くんは早くもお別れです。  
次はいつか再会するのでしょうか。。



施設に戻ったら学生が写真を机に並べてまとめて整理したり  
自身の写真を見ていました。



もちろん自分ら1期生二人も見るので  
いつの間にか一人小一時間のプチ授業みたいになってました。



藤原くん、紺野くん





高橋さん、紺野くん



志村くん、紺野くん



そんなこんなやってるうちに  
早くも紺野くんはベトナムへと帰るため  
早朝タクシーに乗って空港へと向かいました。  
なんだかんだであったという間でした。

いったい次はいつ会うんでしょうか。  
こっから近いから次は自分がホーチミンへ行くか。どーしようか。  
誰も一緒にキナバル山行ってくれないから  
この1年のうちいつかに行こうと約束をしましたので  
もしかしたら、キナバル山日記をアップするかもしれません。



ホーチミンで元気にやっておくれ。 またね。

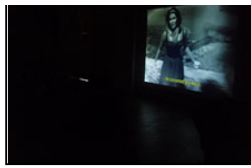
post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.08.23 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2009年08月 アーカイブ

## マレーシア 15





日本から戻ってきた数日後、  
インド・ネパール・中国をフィールドワークしてきた学生たちが  
また一つ成長した姿で、旅慣れた風をなびかせ  
P3へと熊倉局長とともに戻ってきました。

第2回目のスクーリングの始まりです。



熊倉局長、藤原くん



山本さん、高橋さん、志村くん



一人で住んでいるとなかなか開ける事のない入り口のドアには蜂の巣が出現。



長坂先生が学生たちへ  
スクーリングの流れや予定を説明しているところと準備をしていました。



横では局長が中国へ行った時に買ってきた  
ヤクの角で作った屑たきでトントンしながら  
麗江で買ったナシ族のダンスのDVDを見ていました。  
自分も見ると、あら。  
このダンスの表現！ あれだ！  
内モンゴル自治区の草原へ行った時に見たダンスに似てる！  
あの時に見た衝撃的な斬新な振り付け、テンション  
わくわくする表現力、これは似ています。



日本に一時帰国した時に友人宅でやったジェンガの興奮が忘れられず  
せっかくこの施設に独り暮らしじゃないので  
ジェンガをわざわざ買って、  
4期生が帰朝がある時にやってきました。  
集中力を要するハラハラどきどきのジェンガは  
子供のみならず、この年になっても十二分に楽しませてくれます。  
おいしい、真ん中抜くと高くならないべへ  
あー、もう。さすがに回は回ってこないでしょ。  
とそんな事をくっちゃべりながら  
38段目までは積も事ができたのですが  
なかなかそれ以上はいかず、40段の壁が相当厚いです。



自分はKLJに手続きへ。

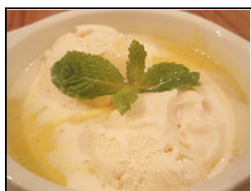
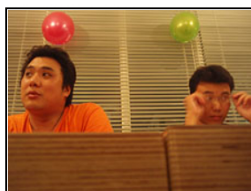
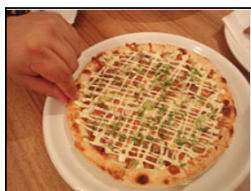
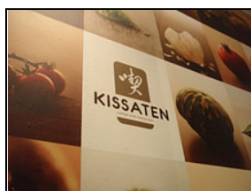
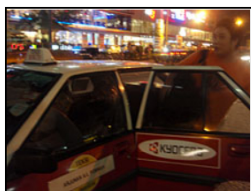
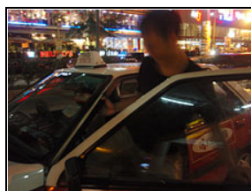


みんなで前回のスクーリングの時にスライドショーをやった  
卒業生のアンディさんのKISSATENというお店へ。



この施設からはすぐ近くで、タクシーに乗り気分。  
恋しいこのお店の料理などに再会しました。

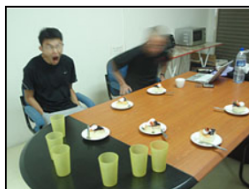




そして、学生が局長へ感謝のケーキを買ってきました。  
ホントはみんなで集合写真を撮ったのですが  
手違いによりその画像を消去してしまいました。。  
おそらく学生のブログで見れると思います。



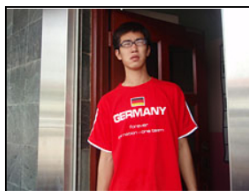




乾杯！ お茶。



局長の約4ヶ月の4期生引率はここでございます。  
ありがとうございました！



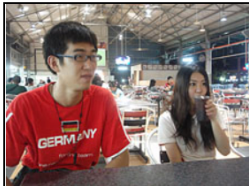
引率という仕事はやはり特別なのだ。と思いついて  
しばしの別れの手を振りあう局長と学生たちとの距離は近く  
どちらも素敵笑顔が出てました。





学生たちは朝から写真の整理を始め、昼は近くの屋台で食べて、  
また写真の整理をし、  
夜は緑の壁のお店へ行くか、jaya19へ。  
そして、また写真の整理、整理、プリント、、、  
と、スクーリングをしていました。

でも、こつこつとパソコンの前に何時間も座り続けて作業をする姿は  
自分たち1期生暗室組とは全然違うものに見えてしまいました。  
あれはあれで大変そうです。



カテゴリ：  
post by 徳田 敬大 | 日時: 2009.08.23 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

明日はどっちだ > 2009年08月 アーカイブ

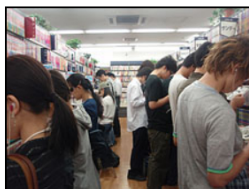
09.08.21

## 日本 2

日本での生活は写真展以外たいした用事はなく  
毎日人と会ってご飯を食べるの繰り返し。  
あれだけ楽しみにしていた実家のご飯すら  
たくさん食べられなかったくらいでした。

4期生がら・6月に施設にスクーリングで来たときは  
おもわずうれしくて数週間で4kg太ってしまいましたが  
学生がインドへ戻った後、減量に成功して迎えた日本エンジョイ生活。

せっかく日本で毎日毎日おいしいご飯を楽しい食事で食べれるのに  
ここで食べる量を減らすなんつぁー自分にはできません。  
太っても、体重なんてくだらない小さい事だ  
増えた体重はうれしさや楽しさの救世主と言いつつ  
気にせず食べてました。  
毎日最高にいいかったです！  
さすが日本食。



じゃあ、今日のもつ鍋が食べたいからもつ鍋屋さんへ行こう。  
 あっ。  
 でもなんか、ここのお店、見て。冷やし鍋ってのがあるんだってさ。  
 ちょっと電話をかけて予約して。  
 と、向かった渋谷のもつ鍋屋さん。  
 しかし、どこかで血迷って冷やし鍋を予約してしまったようで  
 鍋が出てきたと思ったら、その名の通り冷えた鍋。  
 冷やし鍋！  
 その場での話のネタにはなりましたが  
 鍋の後の雑炊を頼むタイミングではみんなが思わず身を乗り出して  
 すみませんが、雑炊はあったかいのでお願いします。。。  
 と言っていました。



地元はすっかり夏でした。  
 盆踊りの準備がしてあったり、田んぼには緑の稲があったり  
 蚊にさされたり、蝉の抜け殻があったり  
 雑木林にはうるさいくらい蝉が鳴いていたり  
 海には相変わらず人がたくさんいたり  
 少しずつ景色は変わってはいっていますが  
 小さいときから感じている夏がそこにはありました。



高校時代の通学路。





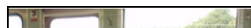
夏祭り



崎原さん



清里フォトミュージアムへ 久保田博二「アジアの肖像：ダイトランスファー・コレクション」を見に行きました。





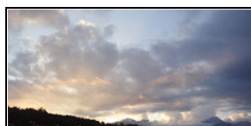
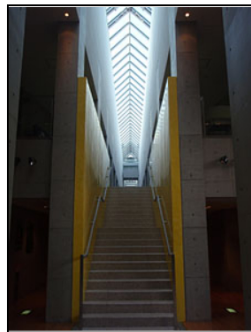
まだ学生だったころバスで行ったのが懐かしくて  
あの時の感覚ですぐ行けるだろう、と思っていた清里駅。  
なんだかんだで片道4時間。



上り(清里駅)		下り(野田山)	
発車時刻	行先	発車時刻	行先
6:21	小淵沢	6:37	小淵沢
7:15	小淵沢	8:13	小淵沢
8:49	小淵沢	10:22	小淵沢
10:02	小淵沢	11:45	小淵沢
11:12	小淵沢	13:39	小淵沢
14:01	小淵沢	15:33	小淵沢
15:34	小淵沢	16:50	小淵沢
17:07	小淵沢	17:31	小淵沢
18:39	小淵沢	18:58	小淵沢
19:59	小淵沢	20:14	小淵沢
10:51	小淵沢	21:49	小淵沢

駅からの道を開くために近くにあったお店のおばちゃんに聞いたところ  
気持ち良いかんじの道をしばらく行けばあるらしいとのこと。  
ところがどっこい、  
地元の人たちは車移動がほとんどらしいので  
歩きでの距離感があまい。  
行けども、行けども、気持ち良いかんじの道すらどこかも分からず  
しばらく進んだところで断念して、  
気持ち良いかんじの道の途中からタクシーでフォトミュージアムへ。

これは、これは  
気持ち良いかんじの道を忘れるほどの  
すごい写真が展示してあってビックりきました。  
ダイランスファープリントというものを聞いた事はあったのですが  
あれは今まで見たプリントの質感やピントとは全く異なるものでした。

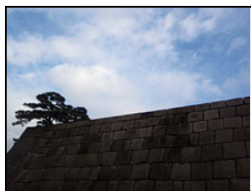




マレーシアにいた時にこのカレーの画像を送ってこられてイラッとしたカレー。  
 このカレーもおいしすぎます。しかもカツカレー。  
 自分がマレーシアの家で作るカレーがカレーじゃないんじゃないか  
 と思いたくなる程の圧倒的な差です。



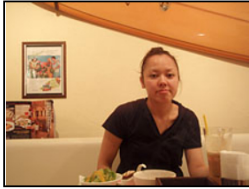
皇居





Japan0249.JPG

宮澤さん、五十嵐先生



藤野さん、谷本さん



江ノ島



鈴木さん



あっという間にエンジョイ日本生活は終わりを告げ  
日本ともまたしばらくお別れです。  
会ってくれたみなさん、ありがとうございました！  
最高に楽しかったです！





夏休みだからでしょう。  
混んでいた成田空港を出発して再度マレーシアへ。



マレーシアに到着！



ただいま マレーシア。  
結局5kgくらい太って帰ってきました。

これからもよろしくお願いします。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.08.21 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

明日はどっちだ > 2009年08月アーカイブ

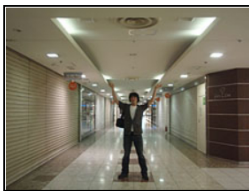
## 日本 1 - 2

あびとも久しぶりに会って  
男4人で若干のむさはりましたが  
ふらっとレンタカーを借りて  
小山登りへ行ってきました。

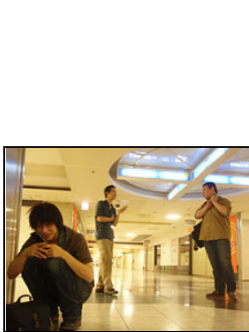




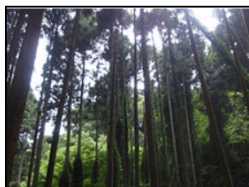
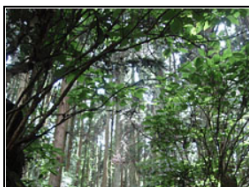
行った山は千葉県の高登山。  
 高速料金ケチって下道で行ったら  
 片道6時間かしかかかってびっくりしましたが  
 いざ上り始めると  
 日本の山の空気感に癒されてたぶん忘れてました。  
 あの緑の色と山並みは最高ですね。

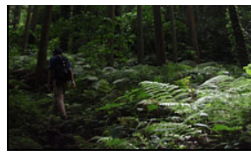


我孫子、後藤くん、田栗



ここから登山開始。



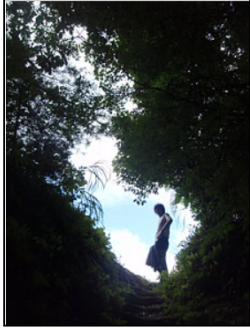
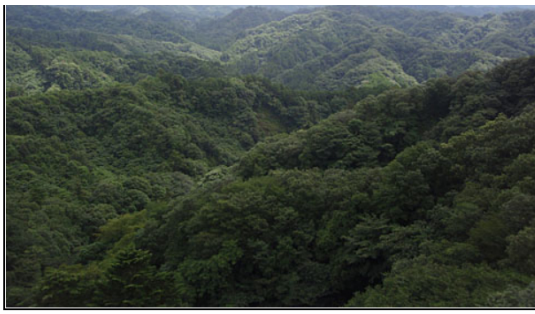


この綺麗な日本の山並みを見て感動すると、やはりここが自分の生まれた国なのだ。と実感します。



ずっと先まで山と森が続いています。





お寺の入り口にて。  
田栗、後藤くん、自分、我孫子



このように岩をくり抜いた所をって頂上を目指します。





頂上まであと少し。

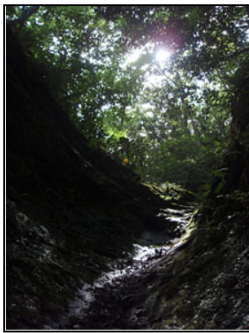
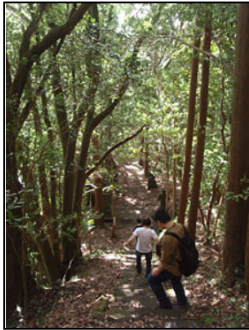


標高は330mと低めでしたが  
2時間くらいかかった頂上から見える山並みと風は素晴らしいものでした！  
あの感動で登ってきた疲れはふっとびました。



そして、下山開始。

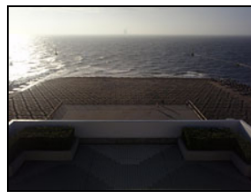




汗だくになってしまった登山でしたが、やはりあの達成感が良いですね。



そして、さすがにまた下道で帰るのは時間がかかりすぎるし、  
ということで東京湾アクアラインを通って東京へと帰りました。  
何時間も運転してくれた田楽にはホントに感謝です。





その後、集合時には遅れましたがFW1期生とご飯へ。

荒金先輩、ゆまさん、藤野さん



五十嵐先生、我孫子、荒金先輩、宮澤さん、大谷さん



カラオケではしゃぐ宮澤さん、その隣で気持ちよく歌う荒金先輩と五十嵐先生





翌日、あびと一緒に学校へあいさつへ行ったり。

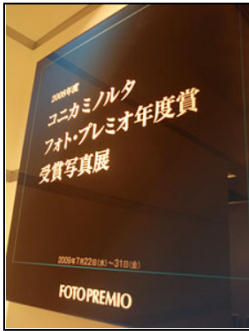


宝石を食べているのではないかと  
錯覚するくらいのパフェです。  
こんなにもおいしいものが存在する日本。  
おそろべしです。





9日間の受賞者展もあったという間に終わってしまいました。  
日本に帰れるキッカケにもなったこの賞をいただけ  
ほんとうにうれしいです！ ありがとうございます！



日本2へつづく・・・

post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.08.21 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

明日はどっちだ > 2009年08月 アーカイブ

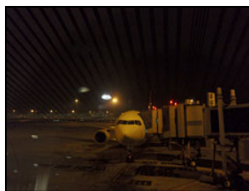
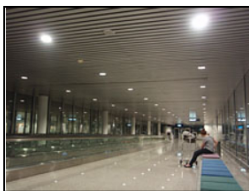
## 日本 1 - 1

7月半ばから8月までちょっと日本に帰っていました。

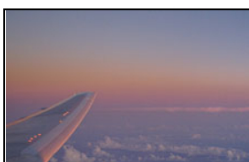
少しばかり遅れましたが、約1年ぶりの日本のブログです。

日本へ発つ数週間前、数日前からお腹がうずうずして  
日本食を食べれる楽しみでいっぱいでした。

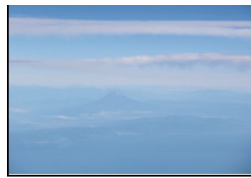
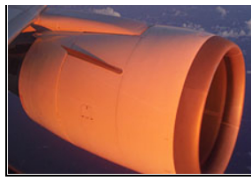
まさか、日本へ日本の飛行機会社で帰れるなんて思ってもなかったです。  
すばらしく、シートではいろいろな映画が見れたので  
フライトの間はずっと映画を見てしまっていました。  
それだけでも、うれしいのなんのって。



日本が近づいて来たとき、飛行機の下に雲が出ていて  
朝日が少し昇り飛行機の影を小さくその雲たちに映していました。  
そういえば、前にテレビで  
こういう時に起こる現象が一つあった事を思い出して  
小さな飛行機の影を追っていると  
見えました エンジェルキス。  
太陽に照らされた影飛行機の回りに  
まあいい虹が見えました。  
天使が追いかけてキスをしているように見えることから  
その名がついたそうです。  
おっと、日本帰国の出だしからなんと縁起の良いことか。







成田空港の「おかえりなさい」が心に沁みました。



日本に帰って成田空港やらコンビニやら何か日本のものをサッと口へ  
運ぼうと幾度となく思いましたが、そこは我慢し、  
日本帰国最初の日本食は鈴木先生と行った ミンカツ。  
くるおしいほどのおいしさに首を振り、身震いがし  
自分自身の舌が大声をあげて喜んでいるのがよく分かりました。  
間違いなく最高でした！！

友達と行った焼き鳥屋さんでは  
一串食べること  
なんでこんな美味しいんだろ！？  
を繰り返して祈り唱えるように  
くどいくらい言っていました。  
やっぱり、日本食を数ヶ月ほとんど食べていなかった  
美味しさが倍くらいに感じたんだと思います。



学校に挨拶へ。



出身高校の野球を観戦しに行きました。





FW1期生ともせっかく帰国したので  
 みんなな仕事をしています、時間を合わせてもらって  
 遊びに行ったりしました。  
 久しぶりに会うのですが  
 ぜんぜん久しぶりの感じがなくて  
 昨日会ったように あっ。っあいさつを交わし  
 もし、自分が小学生だったのなら  
 もの凄く懐かしく思うんだろうと思ったり、  
 それをそんなに思わないから  
 年を重ねているんだろうと思ったり。

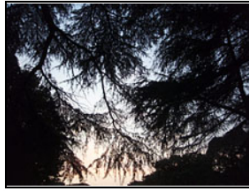


谷本さん、明日香さん、ゆまさん



林先生も合流し食事。  
 ここの中華はすごいおいしかったです。

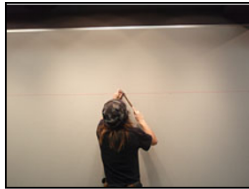




そして、今回の一時帰国の理由はこれでした。  
コカミノルタ フォトプレミアの受賞者写真展

この知らせを数ヶ月前マレーシアで知ったときは  
本気で、うあああ-----あああ-----!!!!!!  
と叫ぼうと思うくらいうれしかったです！  
でも大きくガッツポーズはしてました。

ありがとうございました！



市川さん



五十嵐先生、大谷さん、井上さん、愛さん



そして、奥くんと一緒にラーメンを食べに行ってきました。  
やはり日本のラーメンは信じられないほど美味しいです。



Japan0141.JPG

まさか、久しぶりの日本食は最高です！